

Quest®



KACE®システム管理アプリケーション10.2

リリースノート



目次

Quest® KACE®システム管理 アプライアンス10.2リリースノート.....	3
KACEシステム管理アプライアンス10.2について.....	3
新機能と拡張機能.....	3
解決済みの問題.....	4
既知の問題.....	8
システム要件.....	8
製品ライセンス.....	9
インストール手順.....	9
更新の準備.....	9
アドバタイズされたアップデートを使用したKACE SMAサーバのアップデート.....	10
アップデートの手動によるアップロードと適用.....	11
アップデート後のタスク.....	12
正常に完了していることの確認.....	12
セキュリティ設定の確認.....	12
追加のリソース.....	13
グローバル化.....	13
当社について.....	13
テクニカルサポートのリソース.....	14
法的情報.....	14

Quest® KACE®システム管理 アプライアンス10.2リリースノート

このドキュメントは、KACE システム管理アプライアンス (SMA) バージョン 10.2 に関する情報が記載されています。

KACEシステム管理アプライアンス10.2について

KACE システム管理アプライアンス (SMA) は、デバイスの管理、アプリケーションの展開、パッチ適用、資産管理、サービスデスクチケット管理などを自動化するための、仮想アプライアンスです。KACE SMAシリーズアプライアンスの詳細については、<https://www.quest.com/products/kace-systems-management-appliance/>をご覧ください。このリリースには、多くの新機能が搭載されており、問題が修正され、セキュリティが強化されています。



注: このドキュメントは、このリリース向けに翻訳された唯一のドキュメントです。管理者ガイドや製品内のヘルプなど、その他のガイドは現時点ではローカライズされていません。この製品リリースには、バージョン 10.0 が含まれています。

新機能と拡張機能

このリリースのKACEシステム管理アプライアンス (SMA) は、以下の機能と拡張機能を備えています。

- Windows 10 に組み込まれている機能の更新：機能更新プログラムを展開して、Windows 10 を最新の半年ごとのリリースにアップグレードします。機能更新プログラムは、パッチ適用と同様の方法で検出および展開されます。
- サービスデスクの受信 E メールに対する認証サポート (OAuth 2.0) の改善：Google と Microsoft がそれぞれのアカウントに接続するクライアントアプリの新しいセキュリティ標準を導入したことで、次の資格情報タイプをこの新しいレベルの認証で設定し、サービスデスクの POP3 受信 E メールにアクセスするために使用できるようになりました。
 - Office365 OAuth 資格情報：Office 365 アカウントを持っており、クライアント ID およびクライアントシークレットを使用して Microsoft Azure に Microsoft Active Directory アプリを作成する必要があります。詳細については、<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/active-directory/develop/howto-create-service-principal-portal>を参照してください。
 - Google OAuth 資格情報：開発者アカウントとして使用する Google アカウントを持っており、クライアント ID およびクライアントシークレットを使用して Google アプリを作成する必要があります。詳細については、<https://support.google.com/googleapi/answer/6158849>を参照してください。
- システムトレイからのエージェントの再通知：エンドユーザーは、KACE システムトレイユーティリティを使用して、エージェントのアクティビティの再通知を 15 分、30 分、1 時間、2 時間に設定できます。これは、1 日に最大 5 回まで設定できます。
- 親が子チケットにフィールドを渡す：アプライアンスでは、親子チケットがプロセス (ワークフロー) で子チケットに情報を渡すことができるようになりました。たとえば、新しいユーザーを作成するときに、親

チケットから新しいユーザーの作成に関係する他の部門にユーザー名、部門、電話番号などを渡すことができます。

- PowerShell サポート : KACE SMA オンラインスクリプト用のネイティブ PowerShell がサポートされるようになりました。以前は、KACE SMA オンラインスクリプトでは、ユーザーがバッチスクリプトを定義することしかできませんでした。PowerShell を実行する場合は、バッチファイル内にスクリプトをラップし、バッチスクリプトを使用して起動する必要がありました。KACE SMA から PowerShell スクリプトを直接起動できるようになりました。
- Chromebook 管理の強化点 : このリリースでは、インベントリ情報、デバイスコマンドのサポート、高度な検索、Smart Level レポートが追加されています。
- jOVAL サポート : OVAL と SCAP のスキャンでは、32 ビットおよび 64 ビットのデバイスを含む、サポートされているすべての Windows エージェントプラットフォームに対して、より高速で最新のサポート強化されたクロスプラットフォームモデルである jOVAL が使用されるようになりました。
- KACE GO バイオメトリクス : PIN コードの代わりに生体認証機能を使用できるようになりました。
- KACE GO のチケットテンプレート : この機能は、KACE SMA 10.0 に導入された条件付きロジックフィールドを使用してカスタマイズ可能なテンプレートを拡張し、KACE GO でも機能します。
- チケットテンプレートの新しいレイアウトオプション : チケットテンプレートの新しいレイアウトオプションです。このリリースから、必要に応じて、関連するフィールドをチケットテンプレートにまとめる、レイアウト領域の端近くにフィールドを配置する、フィールド間に空白スペースを作成できるようになりました。

解決済みの問題

以下の問題は、このリリースで解決されています。

解決済みの問題

解決済みの問題	問題 ID
再起動しない を選択したときに、Dell アップデートの展開スケジュールが正常に機能しませんでした。	K1-20940
SAML (Security Assertion Markup Language) のユーザー属性マッピングは、プライマリーキーとして LOGIN にのみ許可されていました。	K1-20935
一部の Dell アップデートが、KACE SMA に存在していたにもかかわらず、管理者コンソールの使用可能なアップデートのリストに表示されませんでした。	K1-20930
SAML 設定 : SAML の初期設定後に役割マッピングが更新されませんでした。	K1-20927
プロビジョニングスケジュールに Linux と Mac の資格情報が含まれ、資格情報が異なる場合、Mac OS でプロビジョニングが失敗しました。	K1-20926
コンピュータのライセンス数に達した場合、KACE Cloud Mobile Device Manager (MDM) のプロビジョニングに失敗しました。	K1-20912
dmg にホスト名を指定して Mac エージェントを手動でインストールすると、インストーラに表示されませんでした。	K1-20909
チケットをアーカイブした後、HTML コードが 解決 フィールドに表示されることがありました。	K1-20905

解決済みの問題	問題 ID
マルチ組織のマルチ言語の KACE SMA で、管理者コンソールの一部の表示言語が誤っていることがありました。	K1-20904
強力な HTML サニタイズにより、\n で始まる UNC パスが新しい行に変換されました。	K1-20892
タスクチェーン：複数のデバイスにアクションを送信した場合、最初のタスクの後のタスクが開始されませんでした。	K1-20880
CSV ファイルへのデバイスのエクスポートに資産ステータスが含まれていませんでした。	K1-20872
管理者コンソールから 2 GB を超えるファイルをアップロードすることができませんでした。	K1-20868
バッチ適用の検出 / デプロイのステータス セクションの デバイスの詳細 ページで並べ替えが動作していませんでした。	K1-20864
バッチカタログからのレポート作成が動作しませんでした。	K1-20852
ticket_fields_visible トークンの作成日と修正日が正しくありませんでした。	K1-20848
デバイスの詳細 ページの アクティビティ グループの サービスデスクチケット セクションで、新規 を選択してもチケットがデバイスに関連付けられませんでした。	K1-20846
多くのデバイスが高速でチェックインすると、データベースのサイズが急速に拡大することがありました。	K1-20843
チケットの詳細 ページからチケットをアーカイブすると、履歴に チケットが削除されました と表示されます。	K1-20842
Mac OS 10.14 および 10.15 では、KACE 警告がダークモードで正しく表示されませんでした。選択しても、警告はダークモードテーマで表示されませんでした。	K1-20836
ソフトウェア MI (管理インストール) では、正常実行後に INSTALLED_COUNT がインクリメントまたはデクリメントされませんでした。	K1-20829
資産の詳細 ページの バーコードのフォーマット フィールドで、アンダースコア (_) 文字を使用できませんでした。	K1-20820
IdP (アイデンティティプロバイダ) によって開始された SAML ログインで組織とポータル (user、admin) を指定するフックが提供されました。	K1-20802
パッチの再起動メッセージ内のカンマ (,) が、スペース、バックスラッシュ、またはカンマとして正しく表示されませんでした。	K1-20781
メディアや 10GBase-T など、サポートされているメディアタイプがありませんでした。	K1-20743
ユーザーをインポートするときに、役割が正常にインポートされない場合があります。	K1-20720

解決済みの問題	問題 ID
Windows Server 2019 でタイムアウトエラーが発生したため、OVAL スキャンが失敗しました。	K1-20713
件名に山括弧が付いたプロセスチケット (親と子) は、作成時に管理者コンソールから消えました。	K1-20670
ようこそメッセージのテキストを削除すると、英語以外の言語のログイン画面に必要なテキストが残りました。	K1-20646
レジストリ設定ポリシースクリプトは、16 進値が大きいとエージェントをハングさせました。	K1-20626
HTML_SUMMARY を変更するカスタムチケットルールは正常に動作しないことがありました。	K1-20619
イベントログメッセージが監視プロファイルの複数の基準に一致した場合、監視でテキストが破損した警告が発生しました。	K1-20614
チケットステータスフィールドのデータが正しくないため、チケットに関連付けられているデバイスを削除またはアーカイブできないことがありました。	K1-20582
E メールアドレスの間にスペースがあった場合、カスタムチケットルールからの E メールが一部のアドレスに送信されませんでした。	K1-20575
英語以外のロケールで、ユーザーコンソールホームダッシュボードの承認列が正しく表示されませんでした。	K1-20546
HTML メール : \$last_comment を使用した E メール通知で、インライン画像が壊れていると表示されました。	K1-20541
承認が有効でない場合、プロセス E メールテンプレートが送信されませんでした。	K1-20527
ユーザー権限が読み取りに設定されている場合、資産またはデバイスを場所に追加できませんでした。	K1-20467
識別できなかったマシンについて SCAP (Secure Content Automation Protocol) の結果を受信すると、予期しない動作が発生しました。	K1-20464
資産のインポートで、インポートでマッピングされていない場合、既存のデバイスの場所とユーザーを削除することがありました。	K1-20454
ユーザーコンソールに表示される最初のロゴが、組織のド롭ダウンメニューでの初期選択と一致しませんでした。	K1-20440
デバイスリスト : エクスポートレポートに 前回の再起動 が表示されませんでした。	K1-20382
Mac 管理対象インストーラで、ZIP 形式のインストーラがサポートされていませんでした。	K1-20337
ユーザーに読み取り権限がある場合に ライセンスの詳細 ページに空白ページが表示されることがありました。	K1-20309

解決済みの問題	問題 ID
カテゴリが一致しないキューにチケットを移動すると、カテゴリ フィールドに予期しない値が表示されることがありました。	K1-20302
保存 または 変更の適用 をクリックすると、コメントからチケットに追加された CC が削除されました。	K1-20295
システム管理コンソールを使用してコンピュータリストをエクスポートすると、組織名が欠落しました。	K1-20110
ソフトウェアをアップグレードすると、添付ファイルが破棄されることがありました。	K1-20097
カスタムの デバイスフィールド が デバイスの詳細 ページに正しく表示されませんでした。	K1-20089
カスタム検出スケジュール：スケジュールの再編集時に Ping の選択がリセットされました。	K1-20037
ライセンス リストページで高度な検索を実行すると、ライセンスの詳細 ページへの名前 列の リンクが正しくないことがありました。	K1-20020
SMB 共有で 32 ビット Linux システムがレプリケーションエージェントとして使用されると、レプリケーションが完了しませんでした。	K1-20016
Dell アップデートウィザードのレポート実行が失敗することがありました。	K1-19986
マシンの詳細ページに間違った MAC アドレスが表示されました。	K1-19884
すべてのデバイスをクリアしたときに、デバイスの範囲ラベルが保存されませんでした。	K1-19883
エージェントのプロセスのタイムアウト設定に関係なく、バッチスケジュールの 検出 / 展開のタイムアウトが適用されるようになりました。	K1-19826
エージェント警告ロゴを設定すると、Mac および Linux デバイスのインベントリで予期しない動作が発生することがありました。	K1-19593
一度に多数の資産の場所を削除と、完了するまでに長い時間がかかりました。	K1-19307
アーカイブチケットの検索と比較するとき、通常チケット内のカスタムフィールドの高度な検索の間に不一致が見られました。	K1-19261
実行中のバッチスケジュールを複製すると、複製されたスケジュールがデバイスにもトリガされました。	K1-19120
ソートフィールドに CREATED または MODIFIED が使用されていると、コンピュータインベントリ CSV のダウンロードが失敗しました。	K1-18601
起動 / ログイン時の MI が Mac で動作していませんでした。	K1-18235

解決済みの問題	問題 ID
SAML 認証が有効になっている場合、組織名に特殊文字が含まれると、SAML ログインページが壊れます。	ESMP-7165
以前のバージョンでは、すべての組織データベースに、リンク済みレポート作成機能の一部である資産タイプビューがありました。このため、顧客はこれらのビューに基づいて SQL レポートを作成できました。リンク済みレポート作成機能はバージョン 9.0 で動作しなくなり、これらのビュー（現在は廃止）はこのバージョンで削除されました。	ESMP-7114
Google 管理コンソールのリンクが正しく機能しませんでした。	ESMEC-3640
Kerberos ドメイン資格情報を標準 FQDN（完全修飾ドメイン）形式で入力できるようになりました。	ESMEC-3614
Mac デバイスで、ユーザーログイン時に実行するように設定されたオフライン kscript が失敗しました。	ESMEC-3530
コンピュータ名にスペース文字が含まれている Mac OS デバイスに簡単な方法で Wake-on-LAN パケットを送信することができませんでした。	ESMEC-3502
サービスデスクで、\$ticket_category トークンの変数置換が機能しませんでした。	ESMAS-4760

既知の問題

このリリースの時点で以下の問題の存在が認識されています。

一般的な既知の問題

既知の問題	問題 ID
既存の資産のインポートスケジュールを編集するとき、SFTP（Secure File Transfer Protocol）のフルパスが保持されません。	ESMP-7253
サポートが必要な場合 スライドアウトメニューは、組織の選択およびログアウトオプションのメニューを非表示にします。	ESMP-7155

システム要件

KACE SMA 10.2 をインストールするために必要な最小バージョンは 10.1 です。使用しているアプライアンスで以前のバージョンが実行されている場合、リストされているバージョンにアップデートしてから、インストールに進む必要があります。

KACE SMA エージェントをアップグレードするために必要な最小バージョンは 9.0 です。KACE SMA 10.2 で最新のエージェントバージョンを実行することをお勧めします。

アプライアンスのバージョン番号を確認するには、管理者コンソールにログインして、サポートが必要な場合をクリックします。表示されるヘルプパネルの下部で、丸で囲まれた i ボタンをクリックします。

バージョン 10.2 にアップグレードまたはインストールする前に、お使いのシステムが最小要件を満たしていることを確認してください。これらの要件は、KACE SMAの技術仕様で確認できます。

- 仮想アプライアンスの場合：<https://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-management-appliance/10.2-common-documents/technical-specifications-for-virtual-appliances/> に移動します。
- サービスとしての K1000 の場合：<https://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-management-appliance/10.2-common-documents/technical-specifications-for-kace-as-a-service/> に移動します。

製品ライセンス

現在KACE SMAの製品ライセンスをお持ちの場合、追加のライセンスは必要ありません。

初めてKACE SMAを使用している場合は、アプライアンスセットアップガイドで製品ライセンスの詳細を確認してください。追加のリソースに移動して、適切なガイドを確認します。

i 注: バージョン10.2の製品ライセンスは、バージョン6.3以降を実行するKACE SMAアプライアンスでのみ使用できます。バージョン10.2のライセンスは、KACE SMAの旧バージョン (6.0など) を実行するアプライアンスでは使用できません。

インストール手順

このバージョンを適用するには、アドバタイズされたアップデートを使用するか、アップデートファイルを手動でアップロードして適用します。手順については、以下のトピックを参照してください。

- [更新の準備](#)
- [アドバタイズされたアップデートを使用したKACE SMAサーバのアップデート](#)
- [アップデートの手動によるアップロードと適用](#)
- [アップデート後のタスク](#)

i 注: 特定のソフトウェアを実行しているデバイスのソフトウェア検出とインストール数の正確性を確保するため、KACE SMA 7.0リリースから、ソフトウェアカタログがアップグレードごとに再インストールされます。

更新の準備

KACE SMAサーバをアップデートする前に、次の推奨事項に従ってください。

- KACE SMA サーババージョンの確認：
KACE SMA 10.2 をインストールするために必要な最小バージョンは 10.1 です。使用しているアプライアンスで以前のバージョンが実行されている場合、リストされているバージョンにアップデートしてから、インストールに進む必要があります。
アプライアンスのバージョン番号を確認するには、管理者コンソールにログインして、サポートが必要な場合をクリックします。表示されるヘルプパネルの下部で、丸で囲まれた i ボタンをクリックします。
- KACE SMA エージェントのバージョンの確認。
KACE SMA エージェントをアップグレードするために必要な最小バージョンは 9.0 です。KACE SMA 10.2 で最新のエージェントバージョンを実行することをお勧めします。
- 開始前のバックアップ：

データベースとファイルをバックアップして、将来参照できるようにバックアップをKACE SMAサーバ以外の場所に保存します。データベースとファイルのバックアップの詳細については、『管理者ガイド』 (<https://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-management-appliance/10.2-common-documents/administrator-guide/>) を参照してください。

- バージョン 7.0 より前にインストールされたアプライアンス。

Quest Software では、バージョン 7.0 より前に最初にインストールされたアプライアンスのイメージ再作成 (物理アプライアンス) または再インストール (仮想) を行わない場合、バージョン 10.1 にアップグレードする前に、データベースのエクスポート、再作成 (OVF ファイルからのイメージまたは仮想マシンのインストール)、および再インポートを行うことを強くお勧めします。詳細については、「<https://support.quest.com/kace-systems-management-appliance/kb/111810/how-to-re-image-the-k1000-appliance>」を参照してください。

お使いのアプライアンスのバージョンがかなり古い場合は、次の記事にアップグレードに関する役立つヒントが記載されています。<https://support.quest.com/kace-systems-management-appliance/kb/155574/upgrading-a-kace-systems-management-appliance-that-is-multiple-versions-behind-upgrade-path-6-x-to-10-0->

アプライアンスのイメージを再作成する理由は多数あります。たとえば、新しいディスクレイアウトでは、バージョン 10.2 との互換性が向上しています。また、セキュリティとパフォーマンスも向上しています。

システムがこのようなアップグレードのメリットを受けるかどうかを判断するには、KBIN ファイルを使用して、アプライアンスの正確な使用年数とディスクレイアウトを特定します。KBIN をダウンロードするには、「<https://support.quest.com/kace-systems-management-appliance/kb/210267/how-to-run-the-kace-systems-management-appliance-configuration-report>」にアクセスしてください。

- ポート 52231 が使用可能であることの確認。

.kbin をアップグレードする前に、ポート 52231 を使用して、KACE アップグレードコンソール ページにアクセスできるようにする必要があります。このポートを使用可能にせずにアップグレードが開始された場合、アップグレードの進行状況を監視することはできません。Quest KACE では、信頼できるシステムからポート 52231 を介した SMA へのトラフィックを許可し、アップグレードコンソールからアップグレードを監視することを強く推奨します。アップグレードコンソールにアクセスしない場合、アップグレードはタイムアウトしたとして、ブラウザに表示されるアクセスできないページにリダイレクトされます。これにより、ユーザーはアップグレードによりシステムがクラッシュしたと判断して、ボックスを再起動することになりますが、実際にはアップグレードはまだ進行中です。アップグレードの進行状況が不明な場合、KACE サポートに連絡してください。また、アプライアンスを再起動しないでください。

アドバタイズされたアップデートを使用した KACE SMAサーバのアップデート

管理者コンソールの ダッシュボード ページまたは アプライアンスの更新 ページで、アドバタイズされたアップデートを使用して KACE SMAサーバをアップデートできます。

注意: アップデート中、KACE SMAサーバを手動で再起動しないでください。

1. データベースとファイルをバックアップします。詳細については、管理者ガイド (<https://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-management-appliance/10.2-common-documents/administrator-guide/>) を参照してください。
2. アプライアンスのコントロールパネルに移動します。
 - アプライアンスで組織コンポーネントが有効化されていない場合は、設定 をクリックします。
 - アプライアンスで組織コンポーネントが有効化されている場合、アプライアンスのシステム管理コンソールにログインします。(http://KACE_SMA_hostname/system) にログインするか、ページの右上隅にあるドロップダウンリストから システム を選択し、設定 をクリックします。
3. 左側のナビゲーションバーで、アプライアンスの更新 をクリックして、アプライアンスの更新 ページを表示します。
4. 更新の確認 をクリックします。
確認の結果がログに表示されます。
5. 更新プログラムが使用可能な場合は、更新 をクリックします。

重要: 最初の 10 分間、アップデートが解凍および検証されている間、一部のブラウザはフリーズしたように見える場合があります。この間に、ページからの移動やページのリフレッシュ、またはページでブラウザのボタンをクリックすると、これらのアクションによって処理が中断されるため、この間はこれらの操作を実行しないようにしてください。アップデートの解凍と検証の後、ログ ページが表示されます。アップデートプロセス中のいずれの時点でも、アプライアンスを手動で再起動しないでください。

バージョン 10.2 が適用され、KACE SMA サーバーが再起動します。ブラウザウィンドウと管理者コンソールに進捗が表示されます。

6. サーバのアップグレードが完了したら、すべてのエージェントをバージョン 10.2 にアップグレードします。

アップデートの手動によるアップロードと適用

Questでアップデートファイルが公開されている場合は、そのファイルを手動でアップロードして、KACE SMAサーバを更新できます。

注意: アップデート中、KACE SMAサーバを手動で再起動しないでください。

1. データベースとファイルをバックアップします。詳細については、管理者ガイド (<https://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-management-appliance/10.2-common-documents/administrator-guide/>) を参照してください。
2. ログイン資格情報を使用して、Questウェブサイト (<https://support.quest.com/kace-systems-management-appliance/download-new-releases>) にログインし、KACE SMAサーバの.kbinファイル (10.2 GA (一般向け) リリース用) をダウンロードして、ローカルに保存します。
3. 左側のナビゲーションバーで、アプライアンスの更新 をクリックして、アプライアンスの更新 ページを表示します。
4. 手動によるアップデート セクションで次の操作を実行します。
 - a. 参照 または ファイルを選択 をクリックして、アップデートファイルを見つけます。
 - b. アップデート をクリックし、はい をクリックして確認します。

バージョン 10.2 が適用され、KACE SMA サーバーが再起動します。ブラウザウィンドウと管理者コンソールに進捗が表示されます。

5. サーバのアップグレードが完了したら、すべてのエージェントをバージョン 10.2 にアップグレードします。

アップデート後のタスク

アップデートが終わったら、アップデートが成功していることを確認し、必要に応じて設定を確認します。

正常に完了していることの確認

KACE SMAのバージョン番号を表示して、正常に完了していることを確認します。

1. アプライアンスのコントロールパネルに移動します。
 - アプライアンスで組織コンポーネントが有効化されていない場合は、設定をクリックします。
 - アプライアンスで組織コンポーネントが有効化されている場合、アプライアンスのシステム管理コンソールにログインします。(http://KACE_SMA_hostname/system) にログインするか、ページの右上隅にあるドロップダウンリストからシステムを選択し、設定をクリックします。
2. 現在のバージョンを検証するには、ページの右上隅にあるサポートが必要な場合をクリックし、表示されるヘルプパネルの下部で、丸で囲まれたiボタンをクリックします。

セキュリティ設定の確認

セキュリティを強化するため、アップデート中はHTTPおよびFTP経由のデータベースアクセスが無効になります。データベースファイルへのアクセスにこれらの方法を使用している場合は、アップデートの後、必要に応じてセキュリティ設定を変更します。

1. アプライアンスのコントロールパネルに移動します。
 - アプライアンスで組織コンポーネントが有効化されていない場合は、設定をクリックします。
 - アプライアンスで組織コンポーネントが有効化されている場合、アプライアンスのシステム管理コンソールにログインします。(http://KACE_SMA_hostname/system) にログインするか、ページの右上隅にあるドロップダウンリストからシステムを選択し、設定をクリックします。
2. 左のナビゲーションバーでセキュリティ設定をクリックして、セキュリティ設定ページを表示します。
3. ページの上部で、次の設定を変更します。
 - セキュアバックアップファイルの有効化：このチェックボックスをオフにすると、ユーザーは、HTTPを使用して認証なしにデータベースバックアップファイルにアクセスできるようになります。
 - データベースアクセスの有効化：このチェックボックスをオンにすると、ユーザーは、ポート 3306 経由でデータベースにアクセスできるようになります。
 - FTP 経由のバックアップの有効化：このチェックボックスをオンにすると、ユーザーは、FTPを使用してデータベースバックアップファイルにアクセスできるようになります。

! **注意:** これらの設定を変更するとデータベースのセキュリティが低下するため、推奨されません。

4. 保存をクリックします。
5. KBINアップグレードの場合のみ。アプライアンスへのルートパスワード(2FA)アクセスの難度を上げます。
 - a. システム管理コンソールで、設定 > サポートの順にクリックします。
 - b. サポートページのトラブルシューティングツールで、2要素認証をクリックします。
 - c. 2要素認証をサポートページで、シークレットキーの置き換えをクリックします。
 - d. トークンに関する記録を作成し、この情報を安全な場所に保管します。

追加のリソース

次の場所から、その他の情報を利用できます。

- オンライン製品ドキュメント (<https://support.quest.com/kace-systems-management-appliance/10.2/technical-documents>)
 - 技術仕様：製品のインストールや、最新バージョンへのアップグレードに必要な最小要件に関する情報が記載されています。
仮想アプライアンスの場合： <https://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-management-appliance/10.2-common-documents/technical-specifications-for-virtual-appliances/> に移動します。
サービスとしてのKACEの場合： <https://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-management-appliance/10.2-common-documents/technical-specifications-for-kace-as-a-service/> に移動します。
 - セットアップガイド：仮想アプライアンスのセットアップに関する説明が記載されています。 <https://support.quest.com/kace-systems-management-appliance/10.2/technical-documents> に移動して、最新リリースのマニュアルを参照します。
 - 管理者ガイド：アプライアンスの使い方に関する説明が記載されています。 <https://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-management-appliance/10.2-common-documents/administrator-guide/> に移動して、最新リリースのマニュアルを参照します。

グローバル化

本項には、この製品を英語以外の構成でインストールして運用するための情報（北米以外のお客様が必要とする情報など）を記載しています。本項は、製品マニュアルの他の場所に記載されているサポート対象プラットフォームや設定に関する資料の代わりとなるものではありません。

このリリースはユニコード対応であり、すべての文字コードをサポートしています。このリリースでは、すべての製品コンポーネントを、同じまたは互換性のある文字エンコードを使用するように設定する必要があり、また同じロケールと地域オプションでインストールする必要があります。このリリースは、次の地域での運用をサポートすることを目的としています。北米、西ヨーロッパ、ラテンアメリカ、中央および東ヨーロッパ、極東アジア、日本。

このリリースは、次の言語のローカライズ版が用意されています。フランス語、ドイツ語、日本語、ポルトガル語（ブラジル）、スペイン語。

当社について

Quest は、急速に変化するエンタープライズ IT の世界にソフトウェアソリューションを提供しています。データの急増、クラウドの拡張、ハイブリッドデータセンター、セキュリティの脅威、規制要件によって生じる課題を簡素化することができます。当社は、Fortune 500 企業の 95 % や Global 1000 企業の 90 % など、100 か国 130,000 社にサービスを提供するグローバルプロバイダです。1987 年以来、データベース管理、データ保護、ID およびアクセス管理、Microsoft プラットフォーム管理、統合エンドポイント管理などのソリューションのポートフォリオを構築してきました。Quest を使用することで、組織は IT 管理に費やす時間を短縮し、ビジネスの革新により多くの時間を費やすことができます。詳細に関しては、「www.quest.com」を参照してください。

テクニカルサポートのリソース

Quest の有効なメンテナンス契約をお持ちのお客様、および試用版をお持ちのお客様は、テクニカルサポートをご利用いただけます。Quest サポート ポータルは、<https://support.quest.com> からアクセスできます。

サポートポータルは、問題を迅速に自身で解決するのに使用できるセルフヘルプツールを提供しており、毎日24時間アクセスできます。このサイトでは、以下の操作を実行できます。

- サービスリクエストの送信と管理
- サポート技術情報記事の表示
- 製品情報への登録
- ソフトウェアと技術文書のダウンロード
- 説明ビデオの再生
- コミュニティの討論への参加
- サポートエンジニアとのオンラインチャット
- 製品のサポートサービスの表示

法的情報

© 2020 Quest Software Inc. ALL RIGHTS RESERVED.

This guide contains proprietary information protected by copyright. The software described in this guide is furnished under a software license or nondisclosure agreement. This software may be used or copied only in accordance with the terms of the applicable agreement. No part of this guide may be reproduced or transmitted in any form or by any means, electronic or mechanical, including photocopying and recording for any purpose other than the purchaser's personal use without the written permission of Quest Software Inc.

The information in this document is provided in connection with Quest Software products. No license, express or implied, by estoppel or otherwise, to any intellectual property right is granted by this document or in connection with the sale of Quest Software products. EXCEPT AS SET FORTH IN THE TERMS AND CONDITIONS AS SPECIFIED IN THE LICENSE AGREEMENT FOR THIS PRODUCT, QUEST SOFTWARE ASSUMES NO LIABILITY WHATSOEVER AND DISCLAIMS ANY EXPRESS, IMPLIED OR STATUTORY WARRANTY RELATING TO ITS PRODUCTS INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTY OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, OR NON-INFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL QUEST SOFTWARE BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, CONSEQUENTIAL, PUNITIVE, SPECIAL OR INCIDENTAL DAMAGES (INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, DAMAGES FOR LOSS OF PROFITS, BUSINESS INTERRUPTION OR LOSS OF INFORMATION) ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS DOCUMENT, EVEN IF QUEST SOFTWARE HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES. Quest Software makes no representations or warranties with respect to the accuracy or completeness of the contents of this document and reserves the right to make changes to specifications and product descriptions at any time without notice. Quest Software does not make any commitment to update the information contained in this document.

If you have any questions regarding your potential use of this material, contact:

Quest Software Inc.

Attn: LEGAL Dept

4 Polaris Way


Aliso Viejo, CA 92656

Refer to our Web site (<https://www.quest.com>) for regional and international office information.

Trademarks

Quest, the Quest logo, Join the Innovation, and KACE are trademarks and registered trademarks of Quest Software Inc. For a complete list of Quest marks, visit <https://www.quest.com/legal/trademark-information.aspx>. All other trademarks and registered trademarks are property of their respective owners.

凡例

 **注意:** 注意アイコンは、指示に従わなかった場合に、ハードウェアの損傷やデータ損失につながる可能性があることを示します。

 **重要、注、ヒント、モバイル、またはビデオ:** 情報アイコンは、補足情報を表しています。

KACEシステム管理アプライアンスリリースノート

更新日 - 2020年3月

ソフトウェアバージョン - 10.2